

なんもく



美
UMASHI KUNI
旨し
国



なんもくむら
南牧村
村勢要覧
2016



なんもくむら
群馬県南牧村

村勢要覧

2016

発行：群馬県南牧村

〒370-2806

群馬県甘楽郡南牧村大字大日向 1098 番地

TEL：(0274) 87-2011 (代)

印刷：荒瀬印刷株式会社





Contents

04 美 UMASHI KUNI しい国

なんもくの名勝・滝めぐり
伝統行事・文化財

06 旨 UMASHI KUNI しい国

村に生きる人々

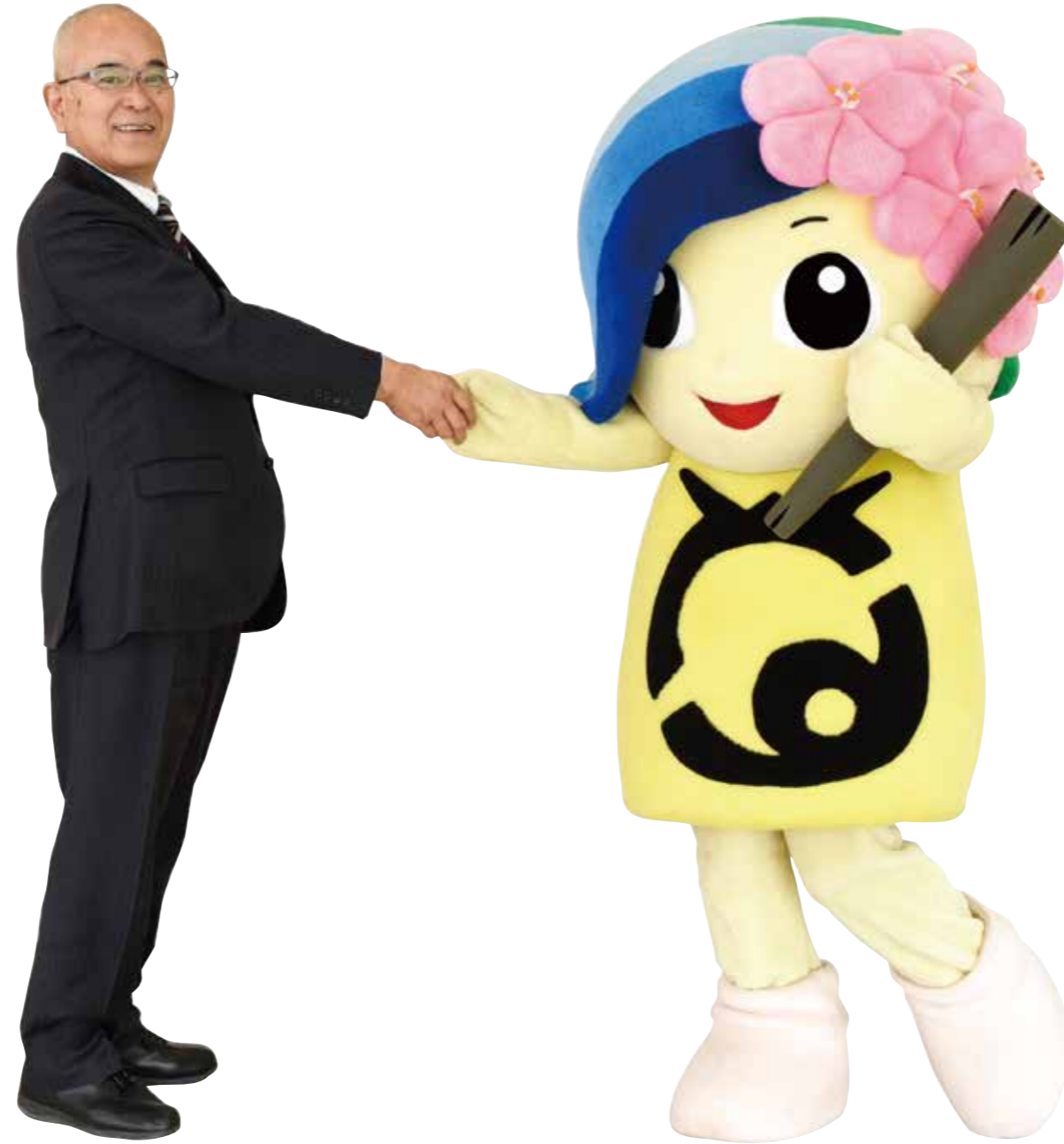
08 教育文化・医療 福祉・
防災 安全・生活 環境

10 行政・議会
行政機構図

12 資料 編

概要・地勢・沿革

14 財政・経済基盤
農業の推移・
年齢層別人口・世帯数の推移



南牧村長
長谷川 最定

南牧村長 長谷川 最定

の取り組みを始めました。
高齢者専用住宅の建設や現在の働き方を工夫することで働き場を確保し、若者の移住や定住を促進していきます。二十年後（2036年）には高齢化率を40%台とすることを目標に、出来ることを休まず実行していくことで必ず実現したいと考えています。
近年では、農村回帰というようなブームや若者の働き方の変化から、移住者は少しずつですが確実に増加しています。山間地や小さな自治体だからこそできる施策やサービスを実施していくことで地方再生を目指してまいります。

美 UMASHI KUNI しい国

水がうまい。
空気がうまい。
大地の恵みが
これまたうまい。
美しい国、旨しい国
わくわく、なんもく。

なんもく村マスコット
なんしいちゃん



- なんもく村マスコット
- なんしいちゃん
- PROFILE
 - 住んでいる所 / なんもく村の滝から生まれて
ひとつばなの中に住んでいる
 - 身長 / 74 なんしい 体重 / 74 なんしい
 - 性別 / おんなの子
 - 生年月日 / 妖精の子どもなのでわからない
 - 性格 / 好奇心がいっぱい
明るい、ちょっとおっちょこちょい
 - 趣味 / お星を集めること、自然の中で遊ぶこと
 - 特技 / お花を咲かせること、お星を空に輝かせること
なんもくの動物とお友だち
 - 好きな食べ物 / なんもく村の特産品
 - 好きなことば / みんな大好き♡
 - 特別大使 / 平成25年4月1日「なんもくこども大使」
に委嘱されました

発刊によせて

南牧村は、古くより農林業を中心として大変栄えた村です。主要産物であった蒟蒻と木材価格の低迷が始まった、昭和三十五年頃より急速に過疎化が進み、現在では高齢化率、少子化率共に全国第一位という状況になっています。現在の高齢化率は60%を超えており、過疎の山村として課題は山積しています。今後最優先すべきは働き場の確保で、子育て世代を中心にUIターンを含め若者に定着していただくことで将来の高齢化率を下げ、健全な人口構造に改善していくための

大日向の火とぼし

群馬県で現存する最古の火祭り。毎年8月14・15日に開催されます。戦国時代、武田勢を助け、勝利した喜びを火祭りで伝えることに由来し、闇に舞う炎の輪が南牧の暮れゆく夏の風物詩となっております。

【国指定 選択無形民俗文化財】
【県指定 重要民俗文化財】



歴史と文化の香りに包まれて、なんもく探

訪



なんもく村自然公園

住所 / 南牧村大字熊倉 981
TEL / 0274-87-3657

大自然の中で気軽にアウトドアライフが満喫できる。妙義荒船佐久高原国定公園の雄大な自然と渓谷の中で気軽にアウトドアライフが楽しめるのが『なんもく村自然公園』です。園内にはキャンプ場やバンガロー等があり宿泊が楽しめます。また天体観測ドームもあり、美しい星空が観察できます。

ココがおすすめ!

道の駅オアシスなんもく



住所 / 南牧村大字千原 3-1
TEL / 0274-87-3350 (直売所)

訪れる人々を優しく迎える、ふれあい交流ステーション。村の玄関口として訪れる人々をあたたく迎える憩いのスポットが『道の駅オアシスなんもく』。南牧村の森から生まれた炭製品や採れたて新鮮野菜が勢揃い。なんもくのおふくろの味も楽しめる。



象ヶ滝

流れ落ちる様子がまるで象の鼻のように見えることからその名がつけられた。落差約30メートル。

線ヶ滝

岩肌を一本の線を描くように落下する滝で落差は約35メートル。

【県指定 天然記念物及び名勝】

三段の滝

三段に分かれて落下する滝で落差は約50メートルもあり流れ落ちる様子は美しく南牧村を代表する滝。

星尾風穴



明治三十八年に作られ岩の間から吹き出す冷風を利用して蚕種や蚕の種紙を保管していた天然の貯蔵所。

【村指定 文化財】

清冽な流れが美しいなんもくの

滝

おすすめ観光スポット

歴史と自然が十分に楽しめる南牧村の「魅」どころ!

滝めぐり

滝の里・南牧村、美しい滝の流れに心癒されて

南牧村の中央に流れる南牧川にはアユ、ヤマメ、イワナが泳ぎ、夏は涼やかな風が流れます。この清流・南牧川の上流や支流には数多くの滝があります。滝めぐりをしながら四季折々の渓谷美が楽しめます。特に南牧村三名瀑である「三段の滝」や「線ヶ滝」、「象ヶ滝」は数多い南牧の滝の中でも迫力ある水の流れが楽しめます。

南牧村民俗資料館



住所 / 南牧村大字羽沢 93
TEL / 0274-87-2417



【国指定 登録有形民俗文化財】

村人たちの暮らしが往時の農山村用具から学べる。貴重な農山村用具が展示され、往時の村人たちの暮らしに、生活の知恵が楽しく発見できる。

ココがおすすめ!

interview



まほらま 代表
五十嵐 亮 さん(36歳)
自然農業家 (神奈川県横浜市出身)

2012年4月に南牧村を訪れ、土の素晴らしさに感動し、村と出会って3週間という超スピード移住を実現。8アールの広大な畑で自然農法による山の土野菜を栽培。オランダ原産の黒鶏ネラ種を飼育し養鶏も営む。



「まほらま」とは住み良い場所、美しい場所という意味を持つ大和言葉。五十嵐さんにとってここはまさに「まほらま」だ。

農

業をテーマに日本一周を自転車で旅をしたのが29歳の時でした。北海道から沖縄まで数多くの農業の現場と出会い、次第

土の素晴らしさは何よりも
村の自然が教えてくれました。

に山の土で野菜を育ててみたい。農薬や化学肥料を一切使用しないで永く持続できる農業をやりたいと思うようになりました。4年前に南牧村へ初めて訪れた時、遅くどっしりと育った大樹と出会い、この大木を支える土にはきつと素晴らしい力があると確信し、移住を決めました。微生物が豊富な腐葉土で育った野菜は味が濃く、実がギュッと詰まっています。野菜宅配のお客様から大変喜ばれています。何よりも家と畑に居るのが一番安らぎます。ここがまさに私の故郷です。

interview



この村に住む
しあわせ



南牧村の特産品「しそ巻き」

夏季限定でしか味わえないおふくろの味。しその栽培から加工まで全て手作り。エゴマやきな粉など体に良い素材を使用した特製味噌を南牧村産のしそで一枚一枚丁寧に巻き、高温の油でサッと焼いた大人気の郷土食です。

かあちゃん本舗
中澤 京子 さん(78歳)

平成11年「かあちゃん本舗」を立ち上げ、現在では「道の駅オアシスなんもく」の農産加工所を拠点に、地元の元気なお母さんたちと南牧村のおふくろの味文化の継承に力を注いでいる。

「地

域のために何か自分たちができることはないか」そんな思いを共にした15人の地元のお母さんたちと立ち上がり、おふくろの味を伝える活動がスタートしました。私が78年間過ごした南牧村の良さは手つかずの自然が多いところです。きれいな川、そしてせせら



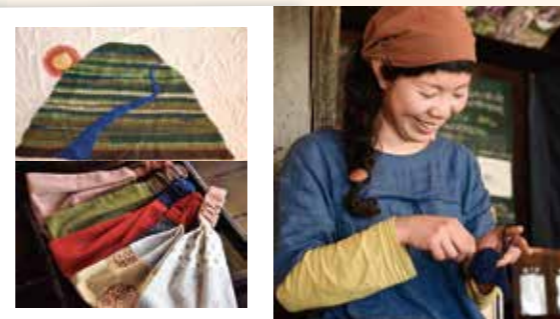
かあちゃん本舗

平均年齢70代という元気なお母さんたちが心を込めて毎日手作りしているお惣菜やお弁当、饅頭や焼餅などは、品揃えも豊富で完売することも多く、訪れる人が絶えない。また後継者不足で閉店を余儀なくされたお豆腐店から機械を譲り受け、味を忠実に再現したお豆腐も新たな看板メニューに。村で長年食されてきた味を守る活動も行なっている。

村人たちの知恵が活きる
おふくろの味を伝えていきたい。

ぎの美しさを感じる時、改めて恵まれた環境に気づかされます。またその土地に合った食を次世代に伝えることも大事なことで感じています。この村に息づく村人たちの暮らしの知恵を継承し、これからも郷土の味を大切に守り伝えていきたいです。

編



編物は国境と言語を越える力があると世界を旅して実感。作品はどれも手編みの温かさが伝わり、心をそっと和ませる。

物は小学校6年生の時母から教わりました。編むことはとても楽しく自己流で腕を磨いていきました。

移住前に世界を旅して、滞在したトルコで編んだ帽子を路上販売しました。するとトルコ人の女性から編方を教えて欲しいと相談され、言葉は通じなくても編物で「コミュニケーション」が図れたことにとっても感動しました。ネパールの田舎

interview



popin 代表
星野 恵里佳 さん(31歳)
編物作家 (群馬県桐生市出身)

南牧村で暮らす人々と触れ合うことで人の温かさに感動し、2016年1月移住。カフェでアルバイトをしながら、編物作家として活躍。移住前には2年間かけて世界30カ国を旅した経験をもつ。

の山岳民族の暮らしには、南牧村にも共通するかっこ良さがありました。自然が身近にあること。手仕事の息づく暮らし、人の温かさなど、この村には尽きない魅力が溢れています。

手仕事が息づき、自然と寄り添う
村の暮らしは毎日がドラマ。



乗合バス



ケアハウスいこい

療 社
医 福

高齢化日本一の村ならではの
安心の医療・福祉

七十五歳以上の乗合バス無料化事業によって、高齢者でも安心して暮らせる生活環境が整備されています。また高齢者住宅の建設や介護予防教室も行われ、高齢者が安心して暮らせるために、村全体でサポートしています。

南牧村子育て応援条例の制定により子育て世代を幅広くバックアップする制度があります。保育料や学校給食費の免除、高校入学や通学費補助金の交付、さらに転入者に対する子育て奨励金の交付を実施しています。また人材育成支援条例の制定により、大学や専修学校で医療や福祉資格を取得するために奨学金の貸与を実施。将来の夢を大きく育てる環境づくりを推進しています。

育 化
教 文

健やかな成長を支える
子育て支援を実施



活 境
生 環

定住化を推進する
支援事業がさらに充実

住宅の建築及び改築の促進による定住化対策を充実しています。空き家バンクの活用などで、近年都市部から移住してきた若者も多くなってきました。またなんもくふれあいテレビ（テレビ再送信・自主制作番組放送、インターネット接続サービス）によって、村の情報がいち早く住民へ届く情報サービスが展開されています。



なんもく暮らし体験民家



なんもくふれあいテレビ

災 全
防 安

地域を基盤にした
災害に強い村づくり

災害や事故に備え、防災訓練を村全体で行い、災害から命と財産を守るため、防災対策を強化しています。災害に強い村づくりに取り組んでいます。



訓練を重ねて明日の防災に備える

To the future.
Nanmoku Village Vision

みんなで育む新たな絆

人も自然も
元気でいきいき。
医療や福祉、教育、防災、
そして生活環境は
村のこれからの未来にとって
どれもはずすことのできない
大切なテーマです。
みんなでつなぐ、
新たな絆が
活力ある村づくりを
推進します。

私たちの村づくりは、一人ひとりみんなが主役

役

議 会

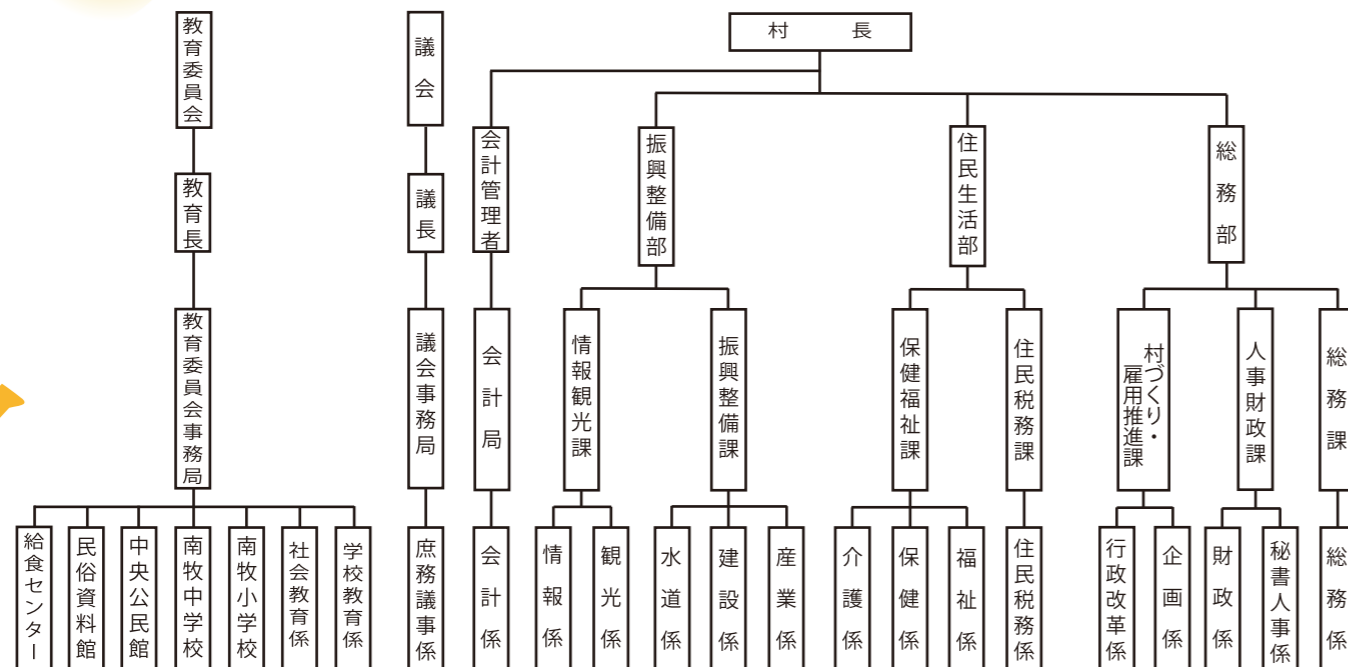


総務文教常任委員会



産業社会常任委員会

●行政機構図



南牧村教育長 碓井 良一



南牧村議会議員 工藤 健司



南牧村長 長谷川 最定



南牧村議会副議長 茂木 栄一

行政、議会そして村民が
一体となって進める村づくり

議会と行政、村民が手を携えながら、これからの南牧村を真摯に考え、新たな施策に果敢に取り組む、そこにあるのはより良い村のためという思いです。少子高齢化日本一の村だからこそ、議会では村民を代表してこうした重要な村の課題を審議し、村民の意見を村政に反映する役割を果たしています。

と行政、そして村民が一体となって、取り組むことが求められます。あくまでも主役は村民。そして行政はそのサポーターとして、より良い村づくりを実現していきます。豊かな自然を大切に守り、訪れる人との交流を活発にし、経済や文化活動に新たな流れを創出していきます。そこから生まれたつながりを育くむ、これこそが南牧村が目指す未来へ向けた村づくりです。

To the future.
Nanmoku Village Vision

何よりもこの結束力が
南牧村の強みです。

チームワーク

村民との協働による
村づくりを進める行政、
住民の声を
反映させて活力ある
村づくりへと導く議会。
村民と一体となって
人と自然も元気で
いきいきとした
未来へ向けた村づくりを
計画・推進していきます。

すべての村民に開かれた信頼の村政運営

営

Nanmoku Village Data

村章



南牧村の頭文字「な」を円形に図案化し、融和・協和を表し、翼は飛躍的な発展を象徴しています。



村の木

杉

風雪に強く、成長力がある杉。村内には樹齢数百年の巨木もあります。



村の花

ひとつばな

少女のような華麗さと格調高い気品がある「ひとつばな」が村の花です。



村の鳥

ウグイス

梅の咲く頃、美しい鳴き声で村に春を告げます。

村民憲章

- 一、わたくしたちは、美しい自然を大切に、健康で明るい村をつくりたい。
- 一、わたくしたちは、知識をひろめ、あすをひらく文化のかおり高い村をつくりたい。
- 一、わたくしたちは、人を敬い、あたたかい心のふれあう村をつくりたい。
- 一、わたくしたちは、仕事によるこびと誇りを持ち、豊かな村をつくりたい。
- 一、わたくしたちは、きまりを守り、みんながすみよいふるさと村をつくりたい。

南牧村 DATA

■南牧村 エリアマップ



地 勢

■南牧村役場の所在地

所在地：群馬県甘楽郡南牧村
大字大日向 1098 番地
緯 度：北緯 36.9°
経 度：東経 138.53°
標 高：372m

面 積：118.83km²
広 ぼう：東西 16.5km 南北 9.2km
標 高：最高 1,442 m 最低 320m



資料編
概要・沿革
地勢・エリアマップ

History of Nanmoku

南牧村の歩み

- 1955年(昭和30年)3月15日
磐戸村・月形村・尾沢村が合併し南牧村が誕生。
- 1956年(昭和31年)4月1日
村の下郷地区(大字小沢の内、字漆原/大萱/山の神/金沢/横岩/青梨子)が同郡下仁田町に編入される。
- 2002年(平成14年)5月
大仁田ダム 完成
- 2004年(平成16年)3月
湯の沢トンネル開通
- 2006年(平成18年)10月
高齢化率日本一となる。
2012年現在の高齢人口割合は57.1%と日本一の割合である。
- 2007年(平成19年)9月6日
台風9号による大雨のため、南牧村の県道・村道が崩壊し、孤立状態となった。
- 2008年(平成20年)8月27日
2008年8月27日 富岡市・下仁田町とともに「富岡甘楽地域合併研究会」を設立。
- 2015年(平成27年)3月15日
村政60周年を迎えた。